



新星

Shinsei
2023 Vol.46

2023年10月19日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」Shinsei 編集部
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

題字：松本 寿美子



CONTENTS

- 2 「便秘症」について 内科医副院長 芹田巧
- 3 第28回 院内研究発表会を終えて
- 4 お薬と飲み物
- 5 栄養管理委員会について / 正面玄関の掲示版のお知らせ
- 6 4年ぶりの新人研修
- 7 第9回 SENIORコース前期スクーリングプログラムに参加して
- 8 デイケアの活動報告 / 病院行事一部再開のお知らせ

基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

便秘症 up to date

内科医副院長 芹田 巧



慢性便秘症は極めて身近な疾患であるが故に軽視される傾向にあったが、2017年に慢性便秘症診療ガイドラインが出版され、2023年8月にも新たに便通異常診療ガイドラインが発表されるなど、便秘症診療に対する動向に変化が見られるようになった。

慢性便秘症の有病率は65才以上では約8%であるが、当院では

- 精神科疾患そのものが便秘発症のリスク
- 抗コリン作用を持つ抗精神病薬による副作用
- 入院生活による運動量の低下、ADLの低下等により慢性便秘症の罹患率は約90%と非常に効率である(図1)。



図1

現在も便秘薬の主流として使用されている酸化マグネシウム製剤は昭和25年に発売され、現在1000万人以上が使用していると推定されるが、2012年09月、高マグネシウム血症による死亡例が報告され、使用上の注意が改訂、注意喚起されるに至った。2020年08月 医薬品医療機器総合機構(PMDA)から腎機能が正常な場合や通常用量以下の投与であっても高マグネシウム血症を発症し、重篤な転帰をたどる症例が報告され、「漫然とした処方避け、必要最小限にとどめる」との勧告が出された。使用する場合には1g程度にとどめるべきと思われる。

また同様に以前から頻用されている刺激性下剤であるセンノシド、センナ等(アントラキノン系)については、慢性便秘症に対する有用性を検討したランダム

化試験はなく、大腸偽メラノーシスを発症、長期連用により結腸壁内神経叢の障害、腸管運動の低下、腸管拡張、伸長(巨大結腸)を発症する事が示唆されており、進行すると不可逆となり、手術を要する。同じく刺激性下剤であるピコスルファート等ジフェニール系では少数のランダム化試験で有用性が報告されている。しかし何れも刺激性下剤は長期連用により耐性が出現、難治性便秘となるため必要時にのみ使用する事が推奨されている。なお大建中湯以外の便秘症に使用されるほとんどの漢方薬も主成分はセンノシドであり注意が必要である。

一方2012年にルビプロストン(アミティーザ)が発売されて以来、エビデンスレベルが高く、問題となる副作用も少なく、ガイドラインでも強く推奨される新機序便秘薬が次々に上市されている(図2)。しかし当院における2023年7月時点でのこれら新規便秘症治療薬の使用率は入院で28.5%、外来で9.2%とまだまだ少ないのが現状である。

慢性便秘症の新規治療薬	
セロクシド(ロクソセロン)	ルビプロストン(アミティーザ)
ジアニル(シタラキ)	リナゴリチド(リンゼス)
リナゴリチド(リンゼス)	エロキセリチド(ターフィス)
ポリエチレングリコール製剤	ネビコール(寝食内)
ラックロス製剤	ラダス(ラダ)

図2

適切な便秘治療により、患者に対してはADL、皮膚科、内科的問題の改善、浣腸による苦痛の削減等の直接的メリットがあり、看護側には排便処置にかかる時間が短縮されるなど看護負担が減少するメリットがある。

従来型の便秘治療薬のデメリット、新規便秘症治療薬のメリットを理解し適切な便秘症治療を行うことが重要と考えられる。

第28回院内研究発表会を終えて



今回、【経管栄養から経口摂取への取り組み】と題して研究を始め発表をさせていただきました。この症例を進める上で、精神疾患患者様に対する説明の難しさ、経口摂取訓練の様々な過程を知ることが出来て、自身の知識を広げる良い機会となりました。

小委員会として活動する中での自身の発表でしたが、小委員会スタッフ、病棟スタッフに助けていただき発表することが出来たと思います。この場をお借りして感謝申し上げます。

看護師 田中 由紀子

地域で生活するデイケア利用者がどのような【生きがい】を持ち、今後どのような支援の課題があるのか発表させて頂きました。今回の研究で、デイケア利用者の【生きがい】にデイケアが大きな影響を与えていることがわかり、デイケアの支援の重要性について再認識致しました。

今回無事に発表することができ、また学びを深められたことを、調査に協力頂いた利用者をはじめ皆様に感謝申し上げます。

精神保健福祉士 草野 まさみ

今回の院内研究でサルコペニアの有病率を調査し、歩行が自立している方にも筋力低下があることに驚きました。現時点では調査だけですが、今後は研究結果を元に筋力低下の原因の調査と対策を実施していきたいと思います。

今回の研究が実施できたのは、部署の協力のおかげだと実感しています。今後、研究に取り組みされる方も部署の協力を得て臨んでください。

理学療法士 東 将洋

第28回院内研究発表会を無事に行うことができました。ありがとうございました。

発表者をはじめ携わっていただいた皆さん、本当にお疲れ様でした。

研究計画、倫理申請などの書類作成、論文作成のための勉強会など様々な協力をいただきながら発表に至っています。まだ、未熟な面もありますが少しずつステップアップし、看護の質の向上、より良い意味のある看護を提供できるよう、努力して参りましょう。

来年発表予定の方も既に準備に取り掛かられているようですが、よろしくお祈いします。

看護部長 荒木 健二

お薬りと飲み物



毎日暑い日が続いており、皆さん体調管理につとめていらっしゃるかと思います。特に今年は猛暑日が続き、ニュースでも“今日も命に関わる暑さです。ご注意ください。”と連日報じられていました。

熱中症予防のためこまめな水分補給が必要になってきますが、暑い中で飲みたくなるものは、、、、お水、お茶、スポーツドリンク、ジュースなどなど人それぞれかと思えます。

薬を飲まれる方は、ついつい手元にある飲み物でお薬を飲むことがないでしょうか？

ときどき、お薬を〇〇（飲み物）で飲んでよいでしょうか？という質問を頂きます。

医療従事者は、「コップ一杯のお水、またはぬるま湯で服用ください。」とお伝えします。

実は、お薬が発売される前の試験段階（“治験”といえます。）でもお水で服用します。

また、お水が少ない場合、お薬がのどや食道に張り付いて炎症を起こすことがあります。

お薬はお水や消化液などに溶けたものが消化管で吸収されますが、お水の量が少なすぎると、お薬が十分に溶けきれず、しっかりと吸収できないことがあり、ある程度の量が必要になります。

では、そのお水、ペットボトルのお水でいいのでしょうか？、、、、

ひとくちに水といっても、水には軟水、硬水といった違いがあり注意が必要です。

（軟水：ミネラル（マグネシウムなど）が少ない、硬水：ミネラルが多い）

日本の水道水は軟水ですが、ペットボトルの水には、原産国によって、違いがあり、海外産のものは、この硬水であることが多く、注意が必要です。

硬水中のミネラル分がお薬の成分と反応してしまい、お薬の効果が低下してしまうことがあるからです。

このように問題となるのは、お薬の成分と飲み物に含まれる成分との相性に寄ります。

特定の飲み物（牛乳やグレープフルーツジュースなど）とは一緒に飲まないようお薬の説明書に書いてあるお薬もあると思います。

これも、飲み合わせによって効果が減って十分な効果が得られなくなったり、お薬の効果が強くでてしまい副作用につながってしまうことがあるからです。

ご自身が服用されている薬と飲み物のことで疑問があれば一度薬剤師に聞いてみて下さい。

せっかく服用するお薬、しっかり本来の効果を得ることができるように、一度ご確認して頂くことをおススメします。



栄養管理委員会について



毎月第四水曜日にカンファレンス室で開催しております。当委員会は栄養部門の運営を円滑にし、かつ栄養管理・給食管理及び衛生安全管理の充実・サービス向上を目的に開催しています。また、栄養課からの伝達事項や取り組み、誤配膳の有無などを報告する場でもあります。

【委員構成】

医師、管理局长、事務長、看護部長、看護副部長、各病棟師長、DC師長、管理栄養士

【活動内容】

栄養課主催の勉強会では、さまざまな部署の方に栄養関係のテーマのもと講義を依頼し、毎月第一木曜日に勉強会を開催しています。当委員会では、その月に実施した勉強会について報告しています。八月の内容は「簡易懸濁法について」で、薬剤師の宮川さんに分かりやすく説明してもらいました。

栄養課では感染症防止のため、体調管理、マスク着用、衛生的な手洗いを徹底しています。調理業務については、温度管理、調理工程についての衛生管理を徹底しています。気温が上がると食中毒のリスクが上がります。安全で安心な食事を提供するために栄養課全体としての取り組みを報告し、衛生管理の向上につな

げています。

院内における食に対する理解を深め 連携を図るために、給食に関する要望を聞き、改善が必要な部分をその都度改善しています。食事は患者さんの大きな楽しみの一つです。当院はサイクルメニューですが、患者さんに食事の楽しさを味わってもらうため、新メニューの開発にも取り組んでいます。病棟より患者様の反応や、意見をもらい今後の献立に生かしています。

また、食事提供で今一度病院全体で認識を一致させたいため、当委員会で確認をしています。9月1日は防災の日として、昼食に非常食を提供しました。通常の食事とは違い、レトルトのお粥やゼリーを提供するため、ご協力いただくようお願いしました。

今後も食事から患者さんのQOL向上に向けて、栄養課が中心となり病院全体で取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

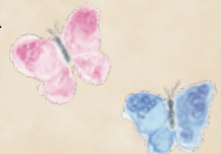


正面玄関から入った掲示板をご存じですか？

正面玄関から入って、すぐ左側に大きな掲示板を設置しております。

掲示板には、デイケア・アルコール・外来OT関連などそれぞれ患者様が知りたい情報を掲示しております。是非立ち止まってご覧ください。

また、困ったこと不明な点などありましたら、職員に声掛けてください。





4年ぶり再開の新人研修を終えて

新人研修を取りまとめたスタッフより



これまで、当院では、毎年新年度に入社された職員等を対象に、新人研修が行われていました。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度より3年間中止していた研修を令和5年度は、4年ぶりに行いました。令和5年に入り入社した24名に加え、令和4年度に入社頂いた6名、計30名が参加しました。5月16日より7月4日までの間、5日間に分け、計9つのセッションが行われ、医局の福嶋先生、看護部などにより精神科病院における職員の心構えや委員会、精神疾患などについてお話頂きました。講師の先生、受講された職員の皆様、お疲れ様でした。

理事長 松本一隆

新人研修プログラムに参加させていただき、様々なことを学ばせていただいた中でCVPPPが印象に残りました。今までCVPPPを聞いたことがなく今回初めて知りました。新人研修プログラムでCVPPPは「援助者は苦しんでいる当事者の見方になり、援軍となることが攻撃性や暴力行動のリスクをさげる」ということで、苦しんでいる当事者の見方になれるような人になりたいと思いました。

研修参加者 精神科保健福祉士

統合失調症や依存症についての病態やCVPPP・DAR記録など、精神科看護に必要なスキルについて幅広く学ぶことができました。今回新たに得た学びと一般領域での経験を生かして、患者firstの精神で看護を提供していきたいです。

研修参加者 看護師

私は8年間別の精神科病院に務めていましたが、今回新人研修を受けて適切な患者様への対応の仕方などを再確認でき、とても有意義な時間となりました。今後も初心を忘れず患者様に寄り添った医療を提供していきたいと思います。

研修参加者 作業療法士

コロナ禍で3年ぶりの新人研修でした。従来のeラーニングに加え、講義にCVPPPを導入し、ECTの見学も新たに取り入れました。初担当の私からみても、より充実したプログラムを提供できたと思います。新人スタッフの成長と今後の活躍を期待しています。

病棟師長 角田

入職おめでとうございます。環境に慣れる迄は、様々な不安や悩みが多いと思いますが、安心してください！周りには相談できる先輩方が沢山います。病院理念を基本に援助にあたり、それぞれが目指す職員像に近づける様頑張ってください。

看護副部長 濱口

勤務してから来月で1年経ちますが、コロナ禍で病院に関しての研修がなく、病院の歴史や関連施設の説明を今まで受けていませんでした。患者様や家族様より関連施設について質問いただくことが多々ありました。関連施設の場所すらも不明でしたが、院長先生からの説明もあり、より理解が深まりました。理念や基本方針などは病院HP上で確認し漠然とではありますが理解しているつもりでした。改めて説明していただき大変勉強になりました。患者さまの権利と責任のお話もあり当たり前だと思っていたことが文字化し表現され再認識できました。看護師さん向けの研修でしたが、受付業務は患者様や家族様と直接接する機会が多い為勉強ができ、いい機会になりました。濱口副部長より丁寧に解説して頂いてより理解することができました。

ありがとうございました。これからも更に頑張っていこうと思います。

研修参加者 事務

入社して精神科医療に携わることが初めての事で不安もありましたが、研修に参加させていただき、基礎的な知識から具体的なケースまでの内容で、改めて学ぶことが出来て、より深く理解することができました。

この研修で学んだことを忘れず、患者様を第一に考え日々の業務に生かし一日も早く貢献できるよう努力して成長していきたいと思います。

研修参加者 事務

日精協通信教育

第9回 SENIORコース前期スクーリングプログラムに参加して

病棟師長 中村 田

日本精神科病院協会通信教育のSTANDARDコース・SENIORコースを経て、全国から50名が参加した日精協通信教育第9回LEADERSHIPコースのスクーリングプログラムに参加させていただき、8/7～8/9の3日間で11演題の講習を受講してきました。

- 1.看護倫理
- 2.接遇・マナー術
- 3.多職種における精神科チーム医療
- 4.人材育成
- 5.職場のメンタルヘルス
- 6.精神科看護管理学
- 7.精神科病院管理学（職場管理）
- 8.精神科病院管理学（精神科病院の経営特性）
- 9.精神科医療事故と法律リスク・マネジメント
- 10.精神科医療の将来展望
- 11.ヒューマンエラー対策



参加者は主任や病棟師長・看護部長など、各施設・病院で管理職を任されている方々でした。講習の内容も今までのSTANDARDやSENIORコースとは違い、管理職に関わる内容が多かったです。

- 1.患者様の人権や虐待に関する考えや時代背景
- 2.ご家族や外部の方と接する際には、その病院の顔として見られる事に対して見た目や対応方法
- 3.チーム医療における各々の高い専門性を活かした関わり方や必要性
- 4.集団の特性や人材のスキル・経験に応じた熟成度への理解
- 5.職場や職場以外で抱えている各々のストレス問題や対応方法
- 6.精神科病院が抱えている課題として、様々な疾患患者様の混在や地域への退院先・隔離や身体拘束
- 7.職場の現状やCOVID-19に対する感染管理・防火や災害管理・人材確保への取り組み
- 8.精神科医療の歴史や精神障がい者に関する法改正・病院設立の経緯・病院管理の解釈

- 9.弁護士による病院で起こる事故と裁判・精神保健福祉法の理解や専門家責任の必要性
- 10.歴史から読み取る精神保健福祉行政の歩みや今後の動向・精神障がい者への身体拘束や雇用への社会的偏見・少子高齢や経済成長の停滞による精神科医療の将来像
- 11.ヒューマンエラーにより起こる事故の原因や、人はミスを起こす事を前提とした環境を整える必要性・組織やチームとしてヒューマンエラーに対する取り組み方

簡単に講習の内容をまとめさせていただきましたが、これらの様に様々な内容の演題でした。まだまだ知識も乏しく役職者としての経験も浅い自分ですが、精神科に勤務する上で改めて考えさせられる事があり、今後取り組んでいきたい事も見えてきました。また、全国から受講された役職者の方々との交流を通して、共感する部分や当院でも参考にしたいと思える取り組みもあり、良い刺激を受ける事が出来ました。

今回は東京都千代田区にある会場での講義でしたが、東京は高校の修学旅行以来でした。更に一人での移動という事もあり、正直講義を受けに行く以前に移動手段などでの不安でいっぱいでした。都電乗り場や乗り換えでは、携帯を手放せずに落ち着かない状況でした。

ホテルに着いた時と自宅に帰ってきた時の安堵感は何とも言えない経験でした。帰りは台風の影響もあり飛行機が飛ばずに延泊する事にもなり、事務所や事務長には飛行機の変更でお手数お掛けしてしまいました。

今回は前期スクーリングプログラムでしたが、次回は後期プログラムもあるので、参加するまでに自分なりに知識を深めていきたいと思えます。貴重な経験と知識を深める機会をいただけて誠にありがとうございました。



||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||【デイケアの活動報告】||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

ペンギン水族館

7月14日（金）、虹わかばグループ（虹＝就労支援、わかば＝新規定着）のメンバーと長崎ペンギン水族館へ出かけました。
久しぶりの院外レクに『良い気分転換になった』と喜んでいました。



デイケア特製しそジュース完成

毎年恒例のしそジュース作りを行いました。畑で採れた大量のしその葉をちぎってジュースにしました。赤しそ、青しそ、両方のジュースが出来上がり、メンバーからも「美味しい！」「夏バテに効きそう！」と大好評です。



めだかの赤ちゃんが産まれました！

デイケアで飼っているメダカの赤ちゃんが沢山産まれました。毎日メダカの水槽を眺めながら癒されているメンバーも多く、これからの成長が楽しみです。

病院行事一部再開のお知らせ

道ノ尾病院では四季折々に合わせた病院行事を毎月計画しており、新型コロナウイルスの5類引き下げを機に今年度より小規模ですが一部再開予定と致しました。しかしながら参加者は入院患者様とスタッフのみと限定させていただいておりますことをご了承ください。
平穏な日常となり、皆様にお会いできる日を心待ちにしております。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。





道ノ尾病院はV・ファーレン長崎を応援しています

©2018 VVN



- 医療法人厚生会**
- 道ノ尾病院 ○虹が丘病院
 - みちのおメンタルクリニック
 - 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
 - 就労継続支援B型・就労移行 ワークステーションかいこう
 - 訪問看護ステーション すみ香
 - ヘルパーステーション にじいろ
 - 相談支援事業所 にじいろ ○居宅支援事業所 にじいろ
 - れいんぼうハウス滑石 ○住宅型有料老人ホーム ほの香
- 社会福祉法人新生会**
- 特別養護老人ホーム 望星荘
 - 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】
<https://www.michinoo.or.jp>



パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ
 道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやアンドロイド端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末(iPhone・iPad)は「みんなのお知らせ」アプリをインストールし、お知らせ通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

